

<巻末データ>現状の把握【小児救急を含む小児医療】

No.	指標名	調査名等	調査年	全国	山梨県	二次医療圏				単位	現状の分析
						中北	峡東	峡南	富士・東部		
1	子ども医療電話相談の回線数・相談件数	相談件数	R3	946,397	9,985	-	-	-	-	件 (人口10万対)	○県全体では全国を上回っている。
				747.2	1,216.1	-	-	-	-		
	回線数	R4	114	1	-	-	-	-	回線 (人口10万対)	○県全体では全国並みとなっている。	
	応答率	都道府県調査							%	○データなし	
2	小児の訪問診療を実施している診療所・病院数	NDB ナショナルデータベース (厚生労働省)	R3	*	*	*	*	*	*	施設	○データが秘匿されているため、評価不可
3	小児の訪問看護を実施している訪問看護ステーション数	訪問看護レセプト	R4	371	2	2	0	0	0	施設 (人口10万対)	○県全体では全国を下回っている。 ○中北圏域を除き該当施設なし。
				0.3	0.2	0.4	0.0	0.0	0.0		
4	小児科を標榜する病院・診療所数	一般診療所数	R2	5,469	39	26	3	1	9	施設 (小児10万対)	○県全体では全国を上回っている。 ○中北・富士東部圏域は県全体を上回っているが、峡東、峡南圏域は県全体を下回っている。
				35.2	40.5	45.5	19.5	22.2	46.5		
	病院数	R2	2,545	27	12	7	3	5	施設 (小児10万対)	○県全体では全国を上回っている。 ○峡東、峡南圏域は県全体を上回っているが、中北・富士東部圏域は県全体を下回っている。	
			16.4	28.0	21.0	45.4	66.6	25.8			
5	小児歯科を標榜する歯科診療所数	医療施設調査 (厚生労働省)	R2	43,909	233	-	-	-	-	施設 (小児10万対)	○県全体では全国を下回っている。
				282.8	241.7	-	-	-	-		
6	在宅医療を担う医療機関と入院医療機関が共同して在宅での療養上必要な説明及び指導を行っている医療機関数	NDB ナショナルデータベース (厚生労働省)	R3	0	0	0	0	0	0	施設	○該当医療機関なし
7	小児科医師数（医療機関種別）	病院	R2	11,088	78	54	11	2	11	人 (小児10万対)	○県全体では全国を上回っている。 ○中北圏域は県全体を上回っているが、その他の圏域は県全体を下回っている。
				71.4	80.9	94.6	71.4	44.4	56.8		
	診療所	R2	7,320.6	48.2	35	2.8	1	9.4	人 (小児10万対)	○県全体では全国を上回っている。 ○中北圏域は県全体を上回っているが、その他の圏域は県全体を下回っている。	
			47.1	50.0	61.3	18.2	22.2	48.5			

*…数値が秘匿されているもの

<巻末データ> 現状の把握【小児救急を含む小児医療】

No.	指標名		調査名等	調査年	全国	山梨県	二次医療圏				単位	現状の分析
							中北	峡東	峡南	富士・東部		
8	夜間・休日の小児科診療を実施している医療機関数		NDB ナショナルデータベース (厚生労働省)	R3	*	*	*	0	0	*	施設	○データが秘匿されているため、評価不可
9	小児地域支援病院数		小児医療提供体制に関する調査報告書	-							施設	○データなし
10	在宅小児の緊急入院を受け入れている医療機関数		NDB ナショナルデータベース (厚生労働省)	R3	*	0	0	0	0	0	施設	○データが秘匿されているため、評価不可
11	小児地域医療センター数		小児医療提供体制に関する調査報告書	-							施設	○データなし
12	小児中核病院数		小児医療提供体制に関する調査報告書	-							施設	○データなし
13	PICUを有する病院数・PICU病床数	病院数	医療施設調査 (厚生労働省)	R2	37	0	0	0	0	0	施設	○本県には該当病院なし
					0.03	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	病床数	345			0	0	0	0	床	○本県には該当病院なし		
		0.27			0.0	0.0	0.0	0.0			0.0	(人口10万対)
14	小児在宅人工呼吸器患者数		NDB ナショナルデータベース (厚生労働省)	R3	43,115	242	232	0	0	10	人	○県全体では全国を下回っている。 ○中北圏域を除き該当事例なし。
					34.04	29.5	50.3	0.0	0.0	5.7		
15	小児の訪問診療を受けた患者数		NDB ナショナルデータベース (厚生労働省)	R3	7,520	*	*	0	0	*	人	○データが秘匿されているため、評価不可
					5.94	*	*	0	0	*		
16	小児の訪問看護利用者数		NDB ナショナルデータベース (厚生労働省)	R3	2,199	0	0	0	0	0	人	○県内に該当事例なし
					1.74	0	0	0	0	0		
17	退院支援を受けたNICU・GCU入院児数		NDB ナショナルデータベース (厚生労働省)	R3	15,809	79	79	0	0	0	人	○県全体では全国を下回っている。 ○中北圏域を除き該当事例なし。
					12.5	9.6	17.1	0.0	0.0	0.0		
18	小児かかりつけ医受診率	小児科外来診療料算定件数	NDB ナショナルデータベース (厚生労働省)	R3	19,361,881	152,404	94,753	26,891	1,179	29,581	件	○県全体では全国を上回っている。 ○中北、峡東圏域は県全体を上回っているが、峡南、富士・東部圏域は県全体を下回っている。
					15,287.2	18,561.1	20,529.4	20,132.7	2,373.5	16,778.3		
	小児かかりつけ診療料算定件数	2,138,359			12,132	11,682	0	0	1,015	件	○県全体では全国を下回っている。 ○中北圏域は県全体を上回っているが、その他の圏域は県全体を下回っている。	
		1,688.3			1,477.5	2,531.1	0.0	0.0	575.7			(人口10万対)

*…数値が秘匿されているもの

<巻末データ>現状の把握【小児救急を含む小児医療】

*…数値が秘匿されているもの

No.	指標名	調査名等	調査年	全国	山梨県	二次医療圏				単位	現状の分析	
						中北	峡東	峡南	富士・東部			
19	緊急気管挿管を要した患者数	NDB ナショナルデータベース (厚生労働省)	R3	10,685	58	58	0	0	*	人 (人口10万対)	○県全体では全国を下回っている。 ○中北圏域を除き該当事例なし。	
				8.4	7.1	12.6	0.0	0.0	*			
20	小児救急搬送症例のうち受入 困難事例の件数	医療機関に受入の照会を行った回数が4 回以上の件数	R3	7,088	80	-	-	-	-	件 (人口10万対)	○県全体では全国を上回っている。	
		現場滞在時間が30分以上の件数		13,340	98	-	-	-	-			
	特別児童扶養手当数、児童育 成手当(障害手当)数、障害 児福祉手当交付数、身体障害 者手帳交付数(18歳未満)	特別児童扶養手当受給者数		福祉行政報告例 (厚生労働省)	R3	254,706	1,643	-	-	-	人 (人口10万対)	○県全体では全国を下回っている。
		障害児福祉手当受給者数		63,372		433	-	-	-	-		
身体障害者手帳交付台帳登載数 18歳 未満	94,051	547	-	-		-	-	人 (人口10万対)	○県全体では全国を下回っている。			
	74.3	66.6	-	-		-	-					
22	救急入院患者数	NDB ナショナルデータベース (厚生労働省)	R3	31,576	381	301	55	0	25	人 (人口10万対)	○県全体では全国を上回っている。 ○中北圏域では県全体を上回っている が、その他の圏域では県全体を下回っ ている。	
				24.9	46.4	65.2	41.2	0.0	14.2			
23	小児人口あたりの時間外外来 受診回数	0歳~15歳未満	R3	4,773,617	16,436	11,286	1,032	20	4,098	回 (小児10万対)	○県全体では全国を下回っている。 ○中北、富士・東部圏域では県全体を 上回っているが、峡東、峡南圏域では 県全体を下回っている。	
		31,161.1		17,371.1	20,060.4	6,875.9	456.9	21,601.4				
	6歳未満	4,508,782		15,483	10,624	937	*	3,922	回 (小児10万対)	○県全体では全国を下回っている。 ○中北、富士・東部圏域では県全体を 上回っているが、峡東圏域では県全体 を下回っている。		
	29,432.4	16,363.9		18,883.8	6,242.9	*	20,673.7					
24	乳児死亡率	人口動態調査 (厚生労働省)	R3	1.7	1.0	-	-	-	-	%	○県全体では全国を下回っている。	

<巻末データ>現状の把握【小児救急を含む小児医療】

No.	指標名	調査名等	調査年	全国	山梨県	二次医療圏				単位	現状の分析
						中北	峡東	峡南	富士・東部		
25	幼児、小児死亡数・死亡原因・発生場所・死亡場所	人口動態調査 (厚生労働省)	R3	1,883	7	4	2	0	1	人 (小児10万対)	○県全体では全国を下回っている。 ○峡東圏域では県全体を上回っているが、その他の圏域では県全体を下回っている。
				12.3	7.4	7.1	13.3	0.0	5.3		
				330	0	0	0	0	0	人 (小児10万対)	○県内に該当事例なし
				2.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
				441	3	1	0	0	2	人 (小児10万対)	○県全体では全国を上回っている。 ○富士・東部圏域では県全体を上回っているが、その他の圏域では県全体を下回っている。
				2.9	3.2	1.8	0.0	0.0	10.5		
				2,158	8	-	-	-	-	人 (小児10万対)	○県全体では全国を下回っている。
				14.1	8.5	-	-	-	-		
391	1	-	-	-	-	人 (小児10万対)	○県全体では全国を下回っている。				
2.6	1.1	-	-	-	-						
90	1	-	-	-	-	人 (小児10万対)	○県全体では全国を下回っている。				
0.6	1.1	-	-	-	-						

*…数値が秘匿されているもの